

2020年4月

## 第1回 北海道学力コンクール 受験生および保護者の皆様へ

いつも北海道学力コンクールを受験いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて学校が休校となるなど、受験生と保護者の皆様におかれましては、多くの不安を抱えておられることと存じます。このような状況のなかで受験いただいた第1回北海道学力コンクールの結果について、簡単ではございますが下記に解説をいたします。

### ●問題について

第1回北海道学力コンクールは、中1～中3の全学年で、例年より平均点が低くなりました。教科別には、特に数学が難しかったようです。今回の試験は、2月末に学校が休校となり、学校での直前の学習機会が限られたなかで行われました。そのため、前学年の後半の学習内容、特に最終単元の定着が思わしくなかったことが結果に影響した可能性があります。また、目に見えない不安が受験生の皆さんの集中力を奪ったのかもしれませんが、今までにない状況のなかで実施された試験でしたので、全体の平均点はもちろん、受験生の皆さんそれぞれの得点にも影響があったことが予想されます。

### ●個人成績票について

個人成績票は、あくまで今回の結果をもとに受験生の皆さんの位置を示したものです。合格可能性が高かったからといって油断せず、またその逆であったからといって必要以上に悲観せずに結果をご覧くださいいただければと思います。

### ●最後に

北海道学力コンクールのような模擬試験では、合格判定にばかり目が行きがちですが、採点された答案をもう一度確認し、間違えた箇所の直しをすることが最も重要です。学校が休校になるなど学習機会の確保が難しい状況にありますが、今回の結果を弱点の発見と克服にご利用いただき、受験生と保護者の皆様の学習不安を少しでも減らす機会としていただければ幸いです。

北海道学力コンクール事務局

## 総評

社会を除くすべての教科がたいへん難しく、5教科合計の平均点もたいへん低くなりました。休校の影響もあり、対応が難しかったかもしれません。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実戦的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。スムーズに受験勉強を始めるために、1・2年内容を完璧にしておきましょう。

## 国語

難しい出題でした。

㊦の漢字の読み書きで、得点率の低かった「仏閣」、「快く」は小学校で習った漢字です。小学校で習った漢字も覚えておきましょう。問三(2)は、「プラスチックごみのリサイクルをすすめるため」に改善が必要な収集区分を選ぶことがポイントですが、条件1として「雑がみ」を書いた答案が多くみられました。㊧は特に得点率が低くなりました。問二(2)は、設問で問われている「感覚」について触れず、「豊かさを感じるために必要なこと」や「豊かさはどのように得られるか」という観点でまとめている答案が目立ちました。まずは、設問をよく読み、問われている内容をしっかりとおさえましょう。記述の答案を書くときは、誤字や脱字、主述のねじれ、空欄の前や後との接続にも注意しましょう。

## 数学

①、②の得点が予想を下回り、平均点も低くなりました。記述も多く、難しく感じた人が多いと思います。

①では、前半の計算問題や反比例の式を求める問題での取りこぼしが目立ちました。作図は折り目の直線を作図する問題でした。折ったあとの図をしっかりとイメージすることが大切です。②問1(2)の記述では、「最頻値」を「36人」と度数で答えるなど、代表値の意味が理解できていない答案が目立ちました。

③は、まずは問1、問2をしっかりとおさえましょう。問1は、「 $x$ の増加量」「 $y$ の増加量」「変化の割合」の意味をしっかりとおさえれば難しくありません。

④問2の証明はこの時期としては難問でしたが、あと1歩の解答が目立ちました。条件から言えることを積み重ね、必要なことがらを導く力を身につけましょう。

## 社会

標準的な出題でした。

地理分野・歴史分野ともに、記述問題では、問題の指示に従わず問われたことを答えていない解答や、指定語句を使っていない解答が目立ちました。記述問題は、問題文をよく読んで、何を問われているのかを確認してから解答を書くように心がけましょう。

地理分野では、①問7の資料判別問題の得点率が低くなりました。世界の国々の農産物については、よく確認するようにしておきましょう。

歴史分野では、⑦問5の年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。1つ1つのできごとを詳しく理解するのは重要ですが、歴史の大きな流れを捉えることも大切なことです。今のうちに復習し、これまで学習したことをしっかり身につけておきましょう。

## 理科

やや難しい出題でした。

①はどれも基本的な内容です。間違えたところがあれば、しっかりと復習しておきましょう。②は計算する必要があるところが多く、難しく感じられたこともあり、全体に得点率が低くなりました。一見難しいように見えますが、考え方がわかっているならば、しっかりと得点に結びつけることができます。苦手意識があれば今のうちに復習して身につけておきましょう。⑦は、実験結果から読み取れることを考察することが必要でした。それぞれの実験の結果が示す意味を理解できたかがポイントでした。単に暗記だけで得点できる問題は限られています。応用的な問題を繰り返し演習して、応用力を養っていきましょう。入試に向けて早くからの対策が重要です。

## 英語

難しい出題となりました。全体的にあまり得点が伸びず、とくに④では得点率が20%以下になった問いがいくつも見られました。今後は入試に向けて文法の基礎固めに早めに取り組むと同時に、入試問題の形式や出題に慣れるために、類似問題の演習を意識的に行っていきましょう。

④問3は、文脈から考えて当てはまる英語を書く出題でした。決して難しい英文ではありませんでしたが、得点率は低くなりました。ある場面の状況にふさわしい英語を書くという出題は、入試でもよく見られます。対策をしておきましょう。

③問5・④問5は得点率が10%以下となりましたが、このような問題は近年の入試で必ず出題されています。文構造を把握できていたか確認しておきましょう。